

|   |                   |     |                    |
|---|-------------------|-----|--------------------|
| 番号  | 28 - 2            | 申請者 | 副診療放射線技師長<br>丸山 裕稔 |
| <p>【審査申請課題】</p> <p>非造影3Dphase contrast angiographyによる鎖骨下動脈描出</p>  |                   |     |                    |
| <p>【審査課題の概要】</p> <p>MRIにおいて、非造影による鎖骨下動脈の描出には、従来からtime of flight(TOF)法が用いられている。しかし、TOF法はinflow効果を利用した撮像法であるため、撮像スライス面に対し垂直に走行する血管の描出は良好であるが、鎖骨下動脈のように平行に走行する血管の描出は困難な場合が多い。その対策として、走行方向に関係なく血管を描出可能な非造影3D phase contrast angiography(3D PCA)の導入を試みた。しかし3D PCAは血液の流速を測定し、velocity encoding(VENC)を適切に設定する必要がある。特に、左右に走行する鎖骨下動脈において、適切な流速測定箇所の設定は困難である。そこで、簡便に流速を測定するため下行大動脈を用い、鎖骨下動脈の流速を予測したVENCを設定することで、良好な描出が可能であるか、健常ボランティアによる検討を行なう。</p> |                   |     |                    |
| 審査結果  | 承認 ( 平成28年5月17日 ) |     |                    |